

東京外国為替市場委員会 第 165 回会合 議事録

開催日時 2013 年 9 月 25 日 13 : 00～15 : 00
場 所 日本銀行本店 新館 9 階大会議室 B
議 長 星野 昭
副 議 長 中野 北斗
書 記 河合 祐子
出 席 者 21 名

I. 委員の任期満了・再任について

星野議長より、石川委員および廣田委員の任期が満了することが報告されました。両氏から、委員に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。

II. 新委員の選任について

星野議長より、本年 2 月まで委員として本委員会へ多大なる貢献があった好川弘一氏（スタンダードチャータード銀行）より再度、本委員会へ参画したい旨の申し出があったとの報告がありました。その後、本人による所信表明を経て委員による投票が行われ、全会一致で新委員に選任されました。

III. 小委員会報告

1. 運営小委員会

塚田小委員長より、委員の再任の上申など本日の議題について話し合われた旨が報告されました。

2. 市場調査小委員会

筒井準委員より、次回の外国為替取引高サーベイ（2013 年 10 月分）にあたって、セールスデスクやプライムブローカー取引の扱いにかかる報告項目の定義・報告方法についてあらためて各報告金融機関の理解を図っていく旨の確認がありました。加えて、東京市場の活性化に向けて、市場調査小委員会で外為証拠金取引など市場実態の調査を進めていく方針について報告がありました。また、太田準委員より、外国為替取引高サーベイの結果（2013 年 4 月分）の海外比較について説明があったほか、9 月に公表された BIS による取引高サーベイの結果についても報告がありました。

3. Code of Conduct 小委員会

筒井準委員（副小委員長）より、9 月 13 日実施の小委員会において整理したオレンジブックの最終ドラフト案について説明があり、本委員会で承認をされました。今後は、法律問題小委員会での検証および英訳作業を進め、10 月中に金融庁に報告、本年内の完成を目指す

予定であることが説明されました。

4. 教育小委員会

大柿小委員長より、8月に実施したフォレックス・セミナーの収支報告がありました。

IV. CLS の同日決済の開始について

CLS の宮崎委員より、9/23日に開始した米ドル—加ドル間の CLS の同日決済について、概要・背景および今後の作業計画に関する説明がありました。

V. その他

1. 「店頭外国為替証拠金取引に関するカバー取引状況」について

本委員会とは別セッションの形で、金融先物業協会の松井調査部長から、市場委員会が同協会に調査を依頼している「店頭外国為替証拠金取引に関するカバー取引状況」の結果について報告がありました。

2. 本邦国際収支見通しについて

同様に、星野議長からの要請を受けて、JP モルガン証券の菅野チーフエコノミストから、本邦国際収支の見通しおよびその為替市場への影響について、プレゼンテーションがありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (9月25日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほ銀行)
副議長・CoC 小委員長	大西 知生	(ドイツ証券)
書記	○河合 祐子	(日本銀行)
運営小委員長	○塚田 常雅	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS デイリング・リソースジャパン)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(三井住友信託銀行)
オペレーション小委員長	○花生 浩介	(香港上海銀行)
E コマース小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
NDF 慣行整備小委員長	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
教育小委員長	○大柿 敦郎	(野村証券)
	○石川 昌信	(トウキョウ・フレックス上田ハーロー)
	○岩田 智宏	(ゴールドマン・サックス証券)
	Joseph A. Kraft Jr.	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○宗川 雄視	(トムソン・ロイター・マーケット)
	○古海 敏勝	(シティグループ証券)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(スタンダードチャータード銀行)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○筒井 慎一	(みずほ銀行)
○森 直樹	(三菱東京 UFJ 銀行)
○太田 幸里	(日本銀行)

<オブザーバー>

○廣川 斉	(財務省)
-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。